

## 可茂農林事務所の普及活動状況（7月）

### 今月の重点活動

#### ■ 堂上蜂屋柿 美濃加茂市堂上蜂屋柿産地振興プロジェクト推進委員会が設立

美濃加茂市の特産品である堂上蜂屋柿は、鎌倉時代からの歴史をもち、平成29年度に地理的表示 (GI) に登録されたブランド干し柿ですが、高齢化の進展・後継者不足等により、今後の生産量の減少が懸念されています。

そこで、産地の維持・発展を目的として、堂上蜂屋柿振興会、JAめぐみの、美濃加茂市、農林事務所を構成員とした「美濃加茂市堂上蜂屋柿産地振興プロジェクト推進委員会」の設立会議が7月21日に開催され、全会一致で委員会発足が承認されました。今後、推進委員会の下部組織であるワーキンググループで、産地戦略・推進方法等について詳細に検討を行ってまいります。

(園芸産地支援係・宮田洋輔)



【設立会議の様子】

### 新たなブランドづくり

#### ■ 茶 産地独自品種の育成に向けた選抜株の挿し木

他産地との差別化につながる特徴と希少性のある商品づくりのため、今年度から白川町と東白川村の茶業振興会が協力して、産地独自の特徴ある品種の育成に取り組み始めました。農林事務所では、育成計画策定および株の選抜等の技術支援を行っており、5月には在来種茶園から芽の伸育状況や早晩性により20株程度を1次選抜しました。一番茶芽がやや硬化した6月下旬から、選抜した株の増殖のため、両町村の茶生産者とJAめぐみのと協力して挿し木を行いました。生産者は産地独自の品種育成に期待しており、選抜茶園の管理について、積極的な協力をいただいています。

今後、苗の生育状況調査を行いながら、挿し木の発根性、挿し木後の生育性等の評価等を行ってまいります。

(園芸産地支援係・広瀬貴士)



【挿し木したほ場の様子】

### 売れるブランドづくり

#### ■ 水稻 スクミリングガイ(俗称ジャンボタニシ)発生状況調査

今年度、スクミリングガイが新たな地域で発生しています。スクミリングガイは、水田や用排水路に生息し、田植え後の水稻苗を食害する外来生物です。

7月13日には御嵩町から、また7月16日には坂祝町からスクミリングガイが発生していると連絡があり、発生状況の確認を行いました。連絡があった周辺を調査した結果、どちらもスポット的に外部から持ち込まれたものと判断し、役場及びJAとの情報共有を行いました。

今後、対策資料の送付、町の広報への注意喚起記事の掲載依頼を行うなど、関係機関と連携して被害拡大防止に努めてまいります。

(地域支援第一係・斉藤政隆、地域支援第二係・加藤瑞穂)



【スクミリングガイと卵】

#### ■ 大豆(白川町) 中耕作業を実施中

白川町の大豆ほ場では7月上旬には本葉6枚となり、中耕作業の時期を迎えたが、7月

初めからの降雨続きで実施できず、雨間の7月16日より中耕作業が開始されました。梅雨期間中の作業となりますが、7月下旬の開花期までに作業が終わるよう関係機関と連携して進めています。

今年は排水対策の徹底により発芽が順調でしたが、雨続きで畝間が滞水し、排水不良田では生育に影響が出てきています。このため、梅雨期間中に溝切りを再度実施するよう助言をするなど、収穫兼確保に向けて働きつづけています。

(地域支援第二係・黒川純子)



【中耕作業実施ほ場】

## ■管内全域 大雨農作物被害状況調査および事後指導

令和2年7月豪雨対策として、7月8日より、関係機関と連携して農作物被害状況を確認しました。水稲やネギ等の露地野菜ほ場への河川水等の流入や土壌流亡、また、強風による果樹や野菜の枝折れ・倒伏等が確認され、排水対策や殺菌剤散布の重要性と効果等について説明しました。

また、7月1～15日の日照時間が19.1時間（美濃加茂アメダスデータより）と平年比29%になるなど深刻な日照不足が続き、水稲いもち病を始め、野菜、果樹、花き、茶等全ての地域の多くの品目で病害の発生が増加、大豆播種等の管理作業や防除の遅れが発生しているため、巡回を強化するとともに、対策について生産者に周知しました。今後も、地域の状況を的確に把握することに努め、農作物の生産量確保、品質維持に向けた取り組みを行っていきます。

(地域支援第一係、地域支援第二係、園芸産地支援係)



【畝が崩れたネギほ場】

## 住みよい農村づくり

### ■集落営農 第1回発起人会の開催

7月10日に白川町黒川の北黒川公民館において、柿反営農組合の法人化に向けた第1回の発起人会が開催されました。今年4月から法人化準備委員会にて検討された定款および事業目論見書、経営収支、組織体制、今後のスケジュール等について検討されました。令和3年2月の法人化を目標とし、組合員60名、農地面積約18haの法人が設立される見込みです。

今後は農業経営者サポート事業を活用し、税理士や司法書士等の専門家を派遣してもらう予定としています。今後も、関係機関と連携して引き続き法人化支援を行っていきます。

(地域支援第二係・黒川純子)



【第1回発起人会】

### ■担い手農家 みのかもファーマーズ倶楽部情報交換会の開催

7月6日に、会員が集まり美濃加茂市の担い手育成支援のあり方について生産者・市役所・農協担当者と意見交換を行いました。新規就農者の中には女性も増えてきており、子育てと農業の両立に対する支援があると良いのではといった意見も出され、市としても担い手育成に重点を置くため、関係機関と支援方法の検討を進めていくとのことでした。

また、農林事務所から新型コロナ対策のための支援策について紹介を行いました。

(地域支援第一係・鷺見彩子)



【情報交換会の様子】